



## 世界情勢によってここ数年、パラジウムという金属が過剰な値上がりをしています。

保険診療で使用される銀歯に最も多く使われている「12%金銀パラジウム合金」は金12%、パラジウム20%、銀50%、銅20%が含まれています。

実は昨今のパラジウムの値上がりに伴い「12%金銀パラジウム合金」の価格はついに保険診療の患者さん負担金額よりも上回る事態となっています。

つまり、治療すればするだけ歯科医院は赤字になること

になります。赤字になっても我々の仕事は「病を治すこと他なりません」から必要があれば治療をしなければなりません。小さい詰め物はプラスチック樹脂である「CR(コンポジットレジン)」で対応できますが、保険診療では被せ物＝銀歯となります。(※条件が合えば保険のプラスチッククラウンが適用となる部位もあります)

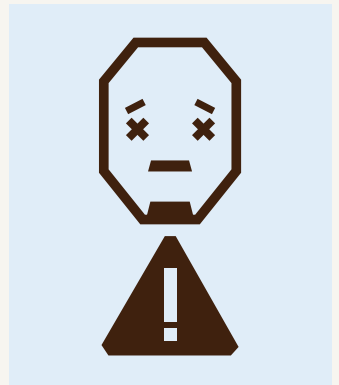


## 当院では昨年より購入しているパラジウム合金の買い置きがあります。

しばらくの期間、前述のパラジウム合金で治療いたしますが在庫がなくなった時点でもう一つの保険適用金属である「銀合金」に変更いたします。

正直に申し上げますと、銀合金は12%金銀パラジウム合金よりもっと人体に使う金属としては適切ではありません。銀合金は毒性が強く、アレルギーも引き起こしやすい強度も弱いです。

「12%金銀パラジウム合金」よりも生体には不適切な金属と言われています。

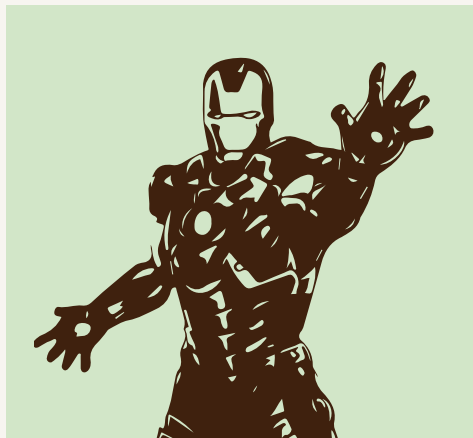


---

しかしながら、他に健康保険適応の被せ物を入れることができなくなるため致し方ないのが現状です。

そもそもパラジウム銀歯も銀合金銀歯も他の国では使われない精度であること、**重篤な金属アレルギー**を引き起こすほどの毒性です。ちなみに、映画の「アイアンマン2」では、主人公アイアンマン＝トニー・スタークが体に装着したパラジウムで死ぬ直前の状態になります。

もしご自身の口の中に銀歯が存在するのであれば、それは**海外ではそのような認識の金属**だということをご理解ください。



**当院ではメタルフリー治療を推奨しております。**

健康保険適応外ではありますが長い目でご自身の健康を考えて頂きたいと思います。**適切な素材を選択することで、お口のみならず体全体の健康寿命が延び、健康に働く時間が増える。**

一年長く働くことができれば少しだけ歯にお金を使うことは決して無駄遣いではないと思います。

**シュンデンタルクリニックでは、生体に優しいメタルフリー治療をお勧めします。**



---

シュンデンタルクリニック

〒041-0802 北海道函館市石川町 461-38 TEL 0138-47-3737

<http://shundc.jp/>